



議会だより



竹を生かした籠



色鮮やかな籠

(12面に関連記事)

Index

- こんなことが決まりました 2
- 一般質問 (9月定例会) 7
- 議会活性化通信 10
- 研修視察報告 10
- あれからどうなったの? 11
- 楽しむ人 12

No.19

平成22年10月26日発行



4回
臨時会

こんなことが決まりました

9月
定例会

第4回臨時会（7月27日）では、名田庄小学校校舎備品の購入1件を原案どおり可決しました。

9月定例会（8日～24日）では、平成21年度決算の認定や一般会計補正予算、地産地消の推進に関する条例の制定などの1議案を原案どおり可決しました。

また、陳情書2件を審査し、1件を採択、1件を不採択とすることとし、地方財政の充実・強化を求める意見書など2件の意見書を提出することに決めました。

財政健全化4指標 一口メモ

実質赤字比率

一般会計等の実質赤字額 ÷ 標準財政規模

連結実質赤字比率

全会計の実質赤字額 ÷ 標準財政規模

実質公債費比率

一般会計等の公債費額 ÷ 標準財政規模

将来負担比率

一般会計が将来負担すべき実質的な負債 ÷ 標準財政規模

9月定例会では、「地方公共団体の健全化に関する法律」に基づき算定された4つの健全化判断比率と、公営企業会計の資金不足比率が報告されました。

算定された各指標は、いずれも早期健全化基準を大きく下回るもので、本町の財政状況が良好な状態にあることが示されました。

今後も指標の算定のみには満足するのではなく、なお一層の現状把握と、将来計画の策定に有効活用することが大切となります。

財政健全化4指標は依然として良好な状態を維持

平成21年度決算を審議し認定

また、一般会計と9特別会計の歳入歳出決算は、予算決算常任委員会に付託して審議。委員長から報告の後、賛成多数（12対1）で認定しました。

不安定な経済情勢と、政権交代などに起因する国政のめまぐるしい変化の中、地方自治体経営の安定化を図るためには、自主財源の強化と経費の節減が避けられない状況にあります。

各課別に受けた決算報告では、改善点の把握と自己評価・課題がそれぞれ示されています。これらを次年度以降の予算編成と、その執行に活かしていくことが重要であると言えます。

今後は、収入の確保と新規財源の開拓努力に加え、政策ヒアリングから予算要求、査定に至るまでの経緯についても、情報の提供が行われ、透明性の高い町政運営が進められることを期待します。

主な質疑内容・指摘事項

- 問 町税の収入未済者に対して、収納努力はされていますか。
- 答 時効による不納欠損以外は、継続して徴収に努力しています。
- 問 不用額が生じた原因を検証し、次年度以降の予算編成に反映させていますか。
- 答 過去3年間の実績と執行率を勘案し、過大な予算にならないよう厳しく査定しています。
- 問 経常収支比率が高くなってきましたが、対応策はありますか。
- 答 経常経費の削減や、集中改革プランに沿った職員数の適正管理などに努めています。
- 問 コンサルタントなどへの委託経費は、専門職員を配置することで削減できませんか。
- 答 小規模自治体では、専門職員を採用することは難しい。
- 問 小浜病院組合へ町全体として加入する計画はありますか。
- 答 町内には2つの診療所もあり、対象範囲を拡大することは、現時点では考えていません。

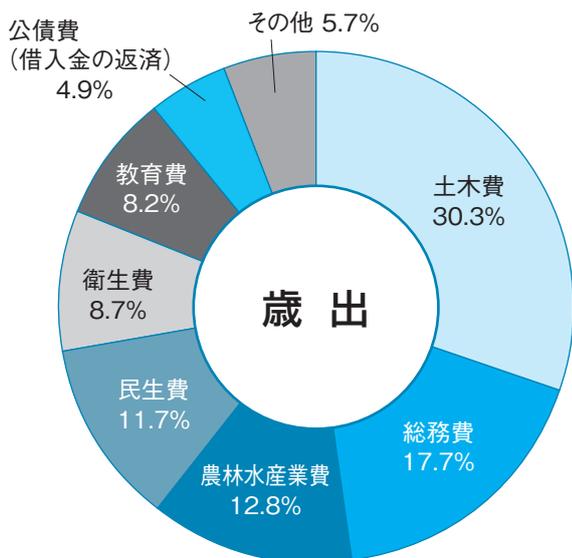
平成21年度決算

経常収支比率が80%を超える

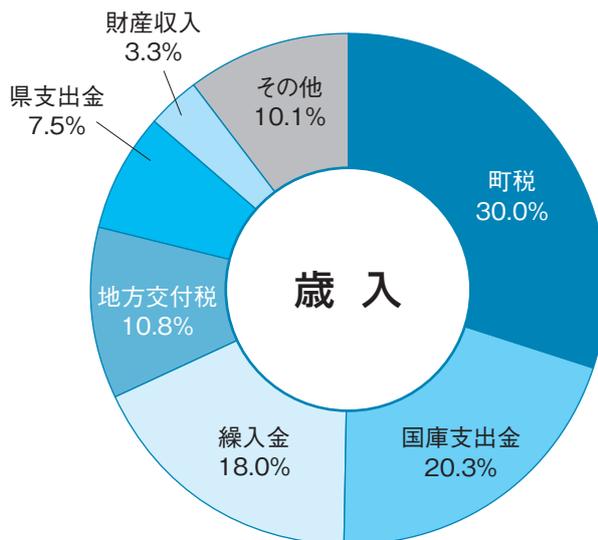
歳入の減収により、財政構造の硬直度を示す指標に赤信号

■一般会計

【歳出】 123億4,105万6千円



【歳入】 131億5,691万5千円



■特別会計

(単位：円)

区分	歳入			歳出			歳入歳出 差引額
	総額	他会計繰入金	純計額	総額	他会計繰出金	純計額	
老人医療	24,923,271	0	24,923,271	24,896,374	0	24,896,374	26,897
後期高齢者医療	87,433,585	26,918,885	60,514,700	87,053,885	0	87,053,885	△26,539,185
国民健康保険	768,578,122	104,390,623	664,187,499	768,578,122	29,114,566	739,463,556	△75,276,057
国民健康保険診療	157,577,337	29,114,566	128,462,771	157,577,337		157,577,337	△29,114,566
介護保険	670,279,073	124,192,028	546,087,045	667,219,600		667,219,600	△121,132,555
介護サービス	11,019,319	9,186,415	1,832,904	11,019,319		11,019,319	△9,186,415
簡易水道	520,788,122	381,308,818	139,479,304	520,788,122		520,788,122	△381,308,818
農業集落排水	374,816,065	279,413,418	95,402,647	374,816,065		374,816,065	△279,413,418
特定環境保全公共下水道	138,603,997	120,612,469	17,991,528	138,603,997		138,603,997	△120,612,469
合計	2,754,018,891	1,075,137,222	1,678,881,669	2,750,552,821	29,114,566	2,721,438,255	△1,042,556,586

おぼえておきたい
この「数字」

平成21年度末 地方債(借金)残高
21基金(貯金)残高

78億9306万7千円
151億1993万5千9円

健全化判断比率

(単位：%)

項目	本町の比率 (前年値)	早期健全化 基準	財政再生 基準
実質赤字比率	- (-)	14.80	20.0
連結実質赤字比率	- (-)	19.80	40.0
実質公債費比率	8.2 (7.9)	25.0	35.0
将来負担比率	- (-)	350.0	-

資金不足比率

(単位：%)

項目	資金不足比率 (前年値)	経営健全化 基準
簡易水道業	- (-)	20.0
農業集落排水業	- (-)	20.0
特定環境保全 公共下水道事業	- (-)	20.0

漬物工場やシイタケ菌床培養施設の整備費を追加

9月補正予算では総額6億460万2千円を追加

今回の補正予算では、歳入において、国が算定方式を変更したことにより大幅な減額となった普通交付税を補うため、歳入の調整を迫られることになりました。

その主な内容は、自主財源では、町税、寄附金、繰越金、諸収入などが追加計上され、特定財源では、普通交付税が減額され、地方特例交付金、国庫支出金、県支出金、町債（※臨時財政対策債）などが追加計上されています。

なお、寄附金は、農産加工施設整備工事に対する指定寄附金です。

また、歳出では、所要事業経費の追加が行われています

議案は、予算決算常任委員会に付託され審議・報告の後、すべて原案どおり可決しました。

※臨時財政対策債

不足する地方交付税の穴埋めとして、地方債を発行させる制度。
なお、償還に要する費用は、後年度の地方交付税で措置されます。

主な質疑内容・指摘事項

問 臨時財政対策債9000万円の起債（借金）の増額は、普通交付税減額に起因するものですか。

答 起債分は後年度交付税措置されますので、実質的には地方交付税と同等なものと理解していただきたい。

問 鳥獣被害防止対策事業での先進地視察の目的は。

答 今後、膨大な施設整備予算を投入する事業であるため、先進的な取り組みを研修し、最善策を検討する配慮をしました。

問 名田庄総合施設整備事業で、完成までに要する経費の総額は。

答 流動的な要素もありますが、総額約16億円と試算しています。

問 林産加工施設（三森）に付随して、佐分利川右岸道路を整備する計画はありませんか。

答 現在は、予定していません。

一般会計

5億9797万2千円

〔主な歳出〕

総務費

●財産管理事業

141万3千円

旧名田庄診療所（井上）車庫解体と、美川区グラウンドのバックネットやトイレを撤去する工事費

●ケーブルネットワーク施設

運営事業

317万1千円

支障移転により光ケーブルを移設配線する工事費

●老人保健事業費国庫等償還金

549万2千円

●法人町民税還付金

184万8千円

町内企業の決算確定により、中間決算に基づき算定した仮納付額より過払いになった分を還付するもの

民生費

●国民健康保険事業特別会計繰出金

319万2千円

●重度身体障害者住宅改造

助成補助金

109万5千円

農林水産業費

●鳥獣被害防止対策事業

132万2千円

鳥獣被害防止対策の先進地を視察するための旅費など



腐食が進み倒壊の恐れがあるバックネット



見通しの妨げになっている車庫

●農産加工施設整備事業

3億7813万1千円
 名田庄西谷地係に、新たに漬物・そば加工場を整備するための建築工事費など



老朽化している漬物加工場

●県単土地改良事業

2160万4千円

【工事箇所・内容】

- ・神崎補給水機場（神崎地係）
- ・揚水ポンプや揚水ポンプ制御盤の取替
- ・浮橋用水路（岡田地係）
- ・用水路改修 2888m
- ・狐塚用水路（芝崎地係）
- ・用水路改修 4217m
- ・岸下排水路（笹谷地係）
- ・排水路改修 300m

●林産加工施設整備事業

1億1980万円
 野尻地区暗渠排水（野尻地係）
 暗渠排水敷設 461m
 三森地係に、新たにシイタケ菌床培養施設を建設するための用地造成工事費など

●中山間地域総合整備事業

1620万円

【工事箇所・内容】

- ・笹谷5号排水路（笹谷地係）
- ・用水路改修 350m
- ・交流施設整備（名田庄納田終）
- ・芝生広場、植栽など



植栽などが行われる芝生広場

商工費

●おおい町商工会館改修事業

1443万円
 老朽化している建物の改修工事への補助金



建築後38年が経過した商工会館

土木費

●道路維持補修事業

290万円

【工事箇所・内容】

- ・山崎宮の上線（鹿野地係）、道路側溝改修 47m
- ・尾内長井線（尾内）
- ・道路側溝清掃など 224m

教育費

- ・名田庄総合施設整備事業

2412万円

施設内の音響機器の購入費と駐車場などの外構整備をするための工事費など



建設が進む名田庄総合施設

特別会計

663万円

【主な歳出】

●後期高齢者医療事業特別会計

37万9千円

●広域連合への保険料納付

●国民健康保険事業特別会計

●レセプトの電子データ化に伴うシステムの改修など

319万2千円

●介護保険事業特別会計

●国・県負担金の超過交付分の返還

305万9千円

新しい図書館情報管理システムを導入

インターネットからの蔵書検索などが可能に

総務常任委員会議案審査結果

総務常任委員会では、付託された議案3件と陳情2件を審査しました。

その結果、議案はすべて原案どおり可決し、陳情1件を採択、もう1件を不採択に決定しました。

〔審査された主な議案〕

●**名田庄小学校校舎耐震改修工事変更契約**

電気幹線経路の切り替えや、エアコン集中管理システムの設置などを主な理由として、590万円増額する変更契約を締結しようとするもの。

併せて、工期は10月14日完成に短縮されています。

(全会一致・可決)

●**庁内ネットワークシステム機器の更新を2583万円で契約**

システムの導入から5年が経過し、機器の保守やセキュリティ対策への対応を受けられなくなることが

ら、機器の更新を行うもの。

入札の結果、リコージャパン(株)が落札しています。

(全会一致・可決)

●**図書館情報管理システムの導入を2504万円で契約**

利用者サービスの拡大・向上や図書館運営の効率化を図るため、大飯図書館と名田庄図書館を統合した図書館情報管理システムを導入するもの。

入札の結果、(株)ラボが落札しています。

(全会一致・可決)



現在の大飯図書館のシステム

地産地消の推進に関する条例を制定

行政の責務、生産者・事業者・町民それぞれの役割を明記

産業建設常任委員会議案審査結果

産業建設常任委員会では、付託された議案4件を審査しました。

その結果、議案はすべて原案どおり可決しました。

〔審査された議案〕

●**うみんぴあ大飯マリーナの喫茶室の利用料金などを改定**

月額利用料の上限額を改定することに伴い、保証金の上限額も併せて改定するもの。

- ・ 利用料 1万円を10万円に
- ・ 保証金 3万円を30万円に

(全会一致・可決)

●**おい町地産地消の推進に関する条例を制定**

この条例は、地産地消の基本理念を定め、町の責務や、生産者・事業者・町民の役割を明らかにして、安全で安心な町内農産物等の供給や、農林水産業の発展、活力のある農村漁村の形成をめざす目的で制定する

もの。

(全会一致・可決)

●**名田庄東部浄化センター前処理施設増設工事を2億9173万2千円で契約**

町内で発生する生し尿を、町の水処理施設で処理するため、名田庄東部浄化センターに隣接して前処理施設を新設する工事です。

入札の結果、新富産業(株)・若丹建設(株)共同企業が落札しています。

(全会一致・可決)

●**岡田浄水場新設工事を2億1991万2千円で契約**

地下水を水源とする岡田水源深井戸の水質に適した浄水施設を岡田導水ポンプ場用地内に新設する工事です。

入札の結果、新富産業(株)・(株)山本組が落札しています。

(全会一致・可決)

町政ごことが聞きたい!

9月定例会では、3人の議員が一般質問をしました。

次世代の人材はネットワークで育成すべきでは

町長 各種団体のネットワーク化を進め、広く議論します



中塚 寛

問 次世代の健全育成のために、関連諸団体のネットワーク化による課題の共有と、協力解決が必要だと考えますが。

答 (教育長) 現在、「おおい町生涯学習推進計画」を策定中であり、各種団体のネットワーク化を進め、広く議論し計画に反映させたいと思っています。

問 町独自の奨学金貸付制度を再考してはごいますか。
答 (教育長) 県社会福祉協議会の「生活福祉資金貸付制度」や「福井県奨学金制度」、日本学生

支援機構の「奨学金制度」を有効利用していただきたい。



講師を招いて行われた「みんなで考える集い」

交付税交付団体に転落した経緯は

法改正により減額、意見書を提出します

問 合併特例法により10年間保障されていた旧名田庄分の普通交付税、約12億円が5年を待たず約7億円となった経緯は。

答 (町長) 合併特例法は額ではなく算定方法を規定したものです。その根拠となる地方交付税法と総務省令の改正により減額となりました。

問 合併後10年間は、普通交付税の旧町村単位での算定を保障しながら、交付税から減額する

答 (町長) 臨財債起債可能額は、元利償還分全額が後年交付税措置されることから実質的には交付税と同等であると考えられます。しかし、5億もの減額は、町の財政運営に大きな影響を与えることから、意見提出制度により、国に対して意見します。

問 国保を県単位で運営する方針が出されましたが、医療

国民健康保険広域化への対応は

町に不利益のないよう要望します

町に不利益のないよう要望します

機会の質と量、さらには、交通の利便性を考えると当町に不利益を及ぼしませんか。

答 (なごみ保健課長) 本町の保険料は、独自の軽減策もあり、県下で最も低くなっています。高度医療サービスの県内格差がある一方、料金のみ統一は不公平。

県の検討会で、不利益が生じないよう強く要望していきます。

自治体クラウドは経費削減につながるのでは

一長一短があり実証実験を注視し検討します

問 ハードやソフト所有の必要がない「クラウドコンピューティング」の導入は、将来の経費削減に寄与すると考えますがどうか。

答 (総務課長) IT経費の削減や、システムの保守・運用の安定化が図れるメリットがある反面、通信回線故障時には利用できないなどのリスクもあります。

国の開発実証実験の状況と結果を注視しながら検討していきます。

■おおい町における今後の農業政策は

町長 国・県・町・農協・農家が連携した農政を展開します



松井 栄治

問 この事業への加入申し込み、交付申請などをされなかった農家への対応は。

答 (町長) 未申請の約46%に当たる333戸は、飯米農家や独自に販路を持つ農家などであると推測されます。

問 この4月から戸別所得補償モデル対策がスタートしましたが、本町におけるこの事業への加入申し込み、交付申請の実態と近隣市町の状況は。

答 (町長) この事業の実施に当たって、国を中心に本町水田農業推進協議会では、1015戸の農家等へ、6月末を締め切りとして、5月中旬に加入申請書を送付しました。

その内、国に申請された農家等は467戸にのぼり、さらに、このモデル事業に参加するとされた農家等が390戸でした。

近隣市町の申請状況は、公表されていませんので把握できません。

問 今後、この事業はどのような形で進みますか。

答 (町長) 来年度以降、政府は、本格的な制度としていく方針とのことですが、

問 本町では、有害鳥獣に対して今後、どのような対応をされますか。

答 (副町長) 町全体として、防除と捕獲の体制をより強固にでき、被害を最小限に留めるための抜本策の調査・検討に入り、この7月に「鳥獣被害防止対策委員会」を立ち上げました。

問 これと並行して、各集落の山治いを中心とした鳥獣類の生息状況を把握するための調査を、専門業者に発注して町全体の実態と今後の予測を把握しようとしています。

今後、委員会でもとめられた方策を最大限尊重して、早急な対応を実施していきます。

問 若狭町に予定されている有害鳥獣処分施設への本町の対応は。

答 (副町長) 嶺南地域有害鳥獣処分施設は、建設予定地が若狭町海士坂に決定し、昨年度は基本計画が策定されました。

建設財源は、嶺南連携事業枠の核燃料税市町交付金の一部を充てることで、本年度分の内示が県からあると聞いています。

本年度は、用地取得や用地造成、そして、実施計画を策定する予定となっております。

来年度は、有害鳥獣処分施設の建設工事に着手し、9月完成、10月頃の供用開始予定となっております。



若狭町海士坂の施設整備予定地

■自然エネルギー利用で真にエネルギーの町に

町長 大規模太陽光発電施設の誘致活動を行います



猿橋 巧

問

原子力政策大綱の見直しに対して、本町でも、「ご意見を聴く会」を開催させるべきでは。

答

(副町長) 国は、高経年運転やプルサーマル、もんじゅ運転再開などの状況変化に合わせて大綱を見直すため、「ご意見を聴く会」を開催しています。

本町では、他の機会をとらえて、関係機関に立地町の住民の意見を吸い上げる場を要望していきます。

問

商業用大規模太陽光発電所などの建設に向けた調査研究を行い、真の「エネルギーの町」を目指せ。

答

(町長) 関西電力が大規模太陽光発電計画を若狭地方で



営業運転を開始した堺太陽光発電所

検討するとの提案があり、本町で実施されるよう、誘致活動を進めていきます。

問

「エコ活動」や「カー・セーブ活動」を充実させるための課題は何ですか。

答

(副町長) 「環境配慮ブック」を作成し、各家庭などに配布します。

また、「カー・セーブ活動」は、月平均50人弱の参加のみです。

公共交通機関利用の問題もありますが、取り組み強化を考えます。

■長期の財政計画に不安

要素はないか

積立も繰出金も住民負担増額はありません

問

平成24年から積立金増と繰出金減が表れています。国保や上下水道会計に住民負担が生じるのでは。

答

(町長) 平成20年から23年まで、財政調整基金と減債基金を24億5千万円取り崩す計画があることから、24年以降その分を積み立てる計画です。

しかし、これで現状の行政サービスが低下するものではありません。

繰出金は、上下水道建設改良が集中する平成23年までの分を手当てするので、減額が住民負担の増額を伴うものではありません。

問

財政の硬直化を防ぐため、新たな地方税収入が必要では。

答

(町長) 法定外税は、県が核燃料税を法定外普通税として課税していますが、本町では、現時点では具体的な検討はしていません。

■バス停留所と

駐輪施設を

利用が限られるので増設は考えません

問

大飯地域には、通学バスのための停留所が必要な箇所があり、設置計画を立案すべきです。また、駐輪施設の併設を考えては。

答

(学校教育課長) 中学校に近しい生徒のほとんどは自転車通学をしており、バス停は、雨天や降雪時に限られて利用されています。一部、本郷地区で停留施設がありませんが、利用状況から見ると、現時点では必要性があると思えません。

バス停を駐輪場代わりに使用している実体があるのなら、今後、確認し、指導していきます。

問

コミュニケーションバス停留所を設置する考えは。

答

(総務課長) 町内49カ所のバス停の内、15カ所に停留施設がありますが、今後、公共施設付近の整備は進めていきますが、集落内のバス停は、用地や費用対効果の観点から問題も多くあります。

議会活性化通信

議会活性化特別委員会

委員長 新谷 欣也

●猛暑よりも熱い議論を

4つの作業班で条例素案を検討

今年の夏は異常な猛暑で、全国的には農作物への被害や、水不足などの色々な影響がありました。

本町では、深刻な被害もなく、最近では、ひと雨ごとに秋の気配になってきました。

本委員会では、議会基本条例の内容を検討するため、7月に素案となる案文をつくりました。

その後、10月に入って、内容を詳細に検討するための作業班を編成しました。

作業班では、委員を3人ずつの4班に分け、担当する条例文の一字一句に至るまで、詳細に検討を行っています。

各作業班では、少しでも良い条例にしようとして、今年の猛暑に負けない

くらしいの熱い議論が交わされています。

今後は、各作業班で検討された内容を委員会に持ち寄り、再検討し、条例案の完成を目指します。

その後、町民の皆様との懇談会を開催して意見交換を行い、そのご意見を踏まえた条例に仕上げたいと考えています。

この懇談会では、町民の皆様の客観的な意見やアドバイスなどを承りたいと考えていますので、多数の方のご参加をお願いいたします。



作業班での検討作業の様子

原子力発電対策特別委員会 研修視察報告

研修日時 平成22年8月26日・27日
研修会場 柏崎刈羽原子力発電所
新潟県刈羽村議会
参加者 議員8人

●地震対策への取り組みは万全か

新潟県中越沖地震の教訓を検証

新潟県柏崎刈羽原子力発電所（東京電力）と刈羽村議会で研修視察を行いました。

平成19年7月16日午前10時過ぎ、新潟県中越沖地震が発生しました。

地震発生後は、1号機から7号機までのすべての原子炉が停止し、3号機横の変圧器からは出火するに至りました。

地震直後は、情報伝達が全く機能しなかったため、テレビなどのマスコミが報道した火災ばかりが人々の目を引き、多くの人に不安を与える結果となりました。

これらのことを踏まえ、報告が遅れた原因や、その後の耐震対策、住

民への説明など、さまざまな取り組みについての説明を受け、教訓が生かされているか検証してきました。

また、刈羽村では、正副議長と4人の正副委員長に参加していただき、両町村の共通の課題や施策などについての意見交換を行い、大変有意義であったと思います。

今後は、この研修で学んだことを参考とし、引き続き、的確な原子力発電対策に取り組んでまいります。



柏崎刈羽発電所での研修の様子

追跡

1年前の一般質問

あれからどうなったの？

議会だよりでは、定例会での一般質問の要旨を掲載していますが、議員からの提案などが、その後、どのように町政に反映されたかを、追跡調査してみました。今回は、平成21年9月定例会からピックアップしました。



きのこの里づくりの 今後は

現施設の更新と生産能力の向上を目的として、三森地係に計画されているシイタケ菌床培養センター整備の進捗状況は。

(松井 榮治 議員)



センサーカメラで捉えられた有害獣

副町長答弁

地元理解を得るため 協議中です

地元から騒音や環境対策などへの質問や要望があったので、その答えを用意し、再度説明をして理解を求めています。



有害鳥獣被害に 革新対策は

有害鳥獣被害は、現在の対策だけでは拡大する一方です。

革新的な方法により解決すべきでは。

(新谷 欣也 議員)

どうなった？

平成23年度に 施設が完成

地元のご理解を得て用地取得が完了し、今年度では用地造成工事が行われます。

その後、施設の建設工事を経て、平成23年度の供用開始を目指します。

副町長答弁

侵入防止柵と駆除の 両面対策で

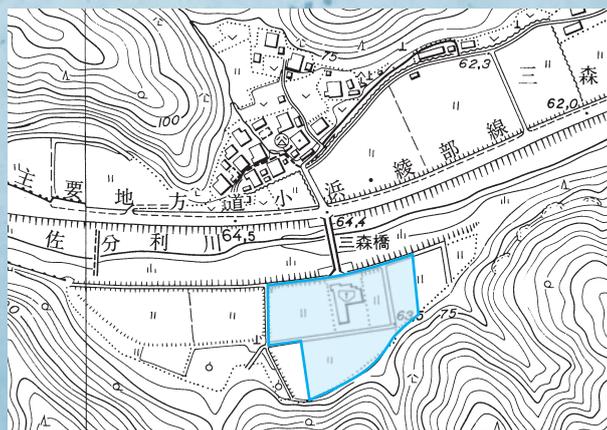
決定的な対策はありません。

今後とも、現在行っている侵入防止策への助成継続や、有害駆除隊員の協力で、個体数の削減に努めます。

どうなった？

広域的な対策に向け 調査を開始

広域的な対策を行うために、おおい町鳥獣被害防止対策委員会を設置して調査を開始しました。その調査に基づき、平成23年度から本格的な対策を講じていきます。



シイタケ菌床培養センターの整備用地

竹を編む

野尻 桑田 廣さん

農作業の建屋に併設した桑田さん手作りのロブハウスが工房です。建物には色々な道具と作品が、あちらこちらに所狭しとおかれていました。

桑田さんは会社勤務の定年退職を機に、農作業の傍ら、もの創りの世界に生き甲斐を見出されたようです。

竹細工は竹人形作家の山田信雄氏、籠は大谷春美氏に手ほどきを受けて制作活動を始められました。過去の経験を生かした創作アイデアは豊富で、竹に限らず、樹木、動物の角、金属の加工にまで及んでいます。

「竹籠に使う真竹は、昔はどこにでも生えていたし、篠竹も沢山あったが、今は町内にほとんどなくなってしまったのが寂しい。環境が人間の所為か分からんが、竹林は孟宗竹に代ってしまった。木も竹も旬に切らないと使い物にならない。自然の材料を使うには、自然にどっぷりとつかないとできない」と桑田さんは言われます。

桑田さんは、地元の愛好仲間で作る「竹遊会」の会長も務めておられます。

晩秋には、工房にある手作りストーブから煙が立ち、仲間の談笑が聞こえてくることでしょう。(渡辺 記)

楽しむ



色バンドを編む

名田庄坂本
藤原 トシエさん・北川 千春さん

明るい色の軽やかな籠。時々、畑仕事などに使っている人を見かけます。

その籠づくり、北川千春さんは、20年ほど前に友人が梱包用のPPバンドを使用した物づくりをしているのを見て、興味を持ち、編み始められました。現在は、幅1.5cmの2～3種類の色バンドを使って、籠、小物入れ、状差し、飾り物など自分で工夫した独自のデザインの物を編んでおられます。

編み方の練習には、地元の商店から使用済みのバンドを提供してもらうことで、小さなリサイクル運動にもなっています。

藤原トシエさんがこの技を継承しようと、より高度な物づくりに挑戦し、習っておられます。慣れてくれば簡単な籠で1日、縁取りの芯がある物でも3日ほどで編み上がるそうです。工夫次第でいろいろな用途に使えるようです。

北川さんは、この作業は場所を取らず屋内ででき、道具もいらない、指の運動にもなるし、集中力と辛抱強さが自然に身に付くと言っておられました。

これからの季節、晴耕雨読ならぬ晴耕雨編で楽しんでください。(森内 記)



議会の傍聴に来てみませんか

おい町議会では、本会議をはじめ議員全員協議会や各委員会も公開しています。次回の定例会は12月です。傍聴について詳しくは議会事務局(77-1111内線312)までお問い合わせください。

12月定例会の予定

- 会 期：12月9日から22日まで(14日間)
- 本会議：9日(議案提案理由説明)、15日(一般質問)、22日(採決)
- 委員会：総務・産業建設常任委員会(16日)、予算決算常任委員会(9日)

【編集後記】

やっと秋の涼しさを感じる季節が訪れました。

9月定例会では、17日間の会期で3人の議員が一般質問を行いました。

また、平成21年度決算の認定や補正予算、工事請負契約の締結など、11議案が提案され、議案の審議も活発な質疑や意見交換の中で、すべての議案が賛成多数で可決されました。

議会は、行政課題に対して、町民の皆様の負託のもと、安心して暮らせる町づくりに向けて対処していかねければならないものです。

今後とも私たち広報特別委員は、「議会だより」が議会と町民の皆様の交流誌として、親しまれる広報誌になるよう、さらに努めてまいります。

皆様のご感想・ご要望などを寄せてください。

(中本)